

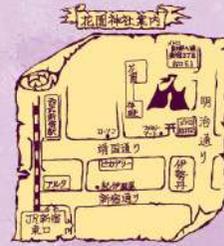
唐組・第77回公演

鉛の兵隊

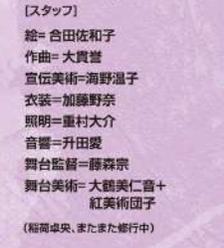
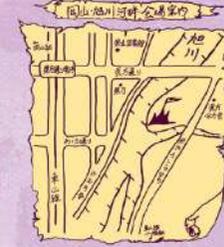
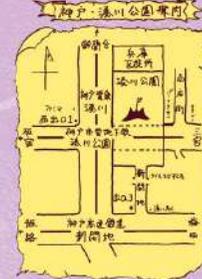
スタントマン事務所(ドタンバ)から、
二風谷はある日、その兵隊になろうとしていた……

作 **唐十郎**
演出 **久保井研十郎**

唐組



2026 SPRING



【スタッフ】
絵= 合田佐和子
作曲= 大貫善
宣伝美術= 清野温子
衣装= 加藤野奈
照明= 重村大介
音響= 升田愛
舞台監督= 藤森宗
舞台美術= 大鶴英仁喜+ 紅美術団子
(稲岡卓央、またまた修行中)
【協力】
株式会社 千代田組
株式会社 half pint
発行日=2026年2月28日
発行人= 渡十兵衛
発行所= 劇団唐組

唐組物販のお知らせ



●Tシャツ
合田佐和子さんシリーズ「盲導犬」再販 & 「鉛の兵隊」もご用意しています

紙媒体の逆襲！
唐組上演台本が
文庫になってやってくる！
●「紅芝居文庫」
2025年春上演「紙芝居の絵の町で」
2025年秋上演「盲導犬」
2026年春上演「鉛の兵隊」

【公演場所・公演日程】 *週によって公演日が異なりますのでご注意くださいませ。

東京=新宿・花園神社

(「新宿」駅地下鉄「新宿三丁目」駅下車)
5月15日(金) 16日(土) 17日(日) /
6月6日(土) 7日(日) / 11日(木) 12日(金) 13日(土) 14日(日)

東京=雑司ヶ谷・鬼子母神

(「雑司ヶ谷」駅有楽町線「雑司ヶ谷」駅下車)
5月23日(土) 24日(日) / 29日(金) 30日(土) 31日(日)

チケット取扱所=
・唐組 ☎03-6913-9225
・シバイエンジン <https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=06edaoux>
・イープラス <http://eplus.jp/karagumi/>



神戸=淡川公園 (神戸高速「新開地」駅地下鉄「淡川公園」駅下車)

[JRの場合]「三ノ宮」駅下車、神戸市営地下鉄東り線「淡川公園」駅下車、東出口2を出て左手の階段を上る
[阪急/阪神電車の場合]「新開地」駅下車、東出口3番 商店街北へ徒歩約5分

4月17日(金) 18日(土) 19日(日)

共催：神戸文化ホール (指定管理者：(公財)神戸市民文化振興財団)

チケット取扱所=
・カルテットオンライン
<https://www.quartet-online.net/ticket/karagumi-kobe2026>
・イープラス
問合せ= ☎090-3944-8702 (唐組神戸) office_hop2013@yahoo.co.jp



岡山=旭川河畔・岡山県庁対岸

(JR岡山駅から路面電車東山線「閑守通り」電停下車、東へ徒歩15分)

4月25日(土) 26日(日)

主催：劇団唐組 特定非営利活動法人アートファーム (岡山河神芸術祭2026)
共催：備前岡山県橋本市実行委員会 後援：岡山県 岡山市

チケット取扱所=
・NPO法人アートファーム http://www.artfarm.or.jp/jigyoo_form/ (お申込みフォーム)
・プレイガイド：まんだらけ TEL.086-222-3244
岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL.086-234-2010
岡山芸術創造劇場ボックスオフィス TEL.086-201-2200
・シバイエンジン <https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=7bl3jq82>
・イープラス
問合せ=NPO法人アートファーム ☎086-233-5175 info@artfarm.or.jp



三重=三重県総合文化センター- 祝祭広場

三重県津市一身田上津部田1234
(近鉄名古原線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」西口より徒歩約25分/三重交通バス約5分)

5月2日(土) 3日(日・祝)

主催：劇団唐組
共催：三重県文化会館 (公益財団法人三重県文化振興事業団)、特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークあえ (津あけぼの座)
後援：レディオキューブFM三重
チケット取扱所=
・三重県文化会館WEBチケットサービス「エムズネット」 <https://jp-ticket.jp/center-mie/>
・三重県文化会館チケットカウンター 窓口・電話 ☎059-233-1122 (10:00~17:00)
*三重県文化会館は、令和8年1月4日~4月30日まで休館中としております。その間、両館内の販売チケットカウンターで販売いたします。
問合せ=三重県文化会館チケットカウンター ☎059-233-1122 (10:00~17:00) /両館または両館平日休館日



長野=長野市城山公園 ふれあい広場

6月20日(土) 21日(日)

チケット取扱所=
・ISHI KAWA地域文化企画室 エランドール、カルト、ナグラフィカ、ネオンホール、土土劇場(松本、大町)、緑の角(上田)
・シバイエンジン <https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=xtzrrfjq>
・イープラス
問合せ=ISHI KAWA地域文化企画室 ☎070-4142-0021 (小松) karagumi-nagano@gmail.com



問合せ=唐組 ☎/Fax 03-6913-9225

前売開始 東京・神戸・岡山・三重=3月1日(日) 長野=5月1日(金)

開演時間 毎夕7時(6時30分開場)

入場料	
前売券	4,000円
当日券	4,200円
U-22	3,300円
子供券	2,000円

*入場料増徴(前売券と当日券)及び当日券は、午後2時より受付にて発行致します。
*独立した公演以外の公演は入場をできません。 *完全自由の観覧席です。
*お支払クレジット引出(1公演につき1組限定、要予約)
唐組 karagumiinfo@yahoo.co.jp TEL&fax 03-6913-9225までお問合せ下さい。
(その他販売サイトもあります。詳しくは劇団公式HPをご覧ください)

【役者陣】



【客演陣】



作=唐十郎

演出=久保井研+唐十郎

【登場人物】

散里おひめ…スタントマン事務所(ドタンバ)に所属する。現在、やっときたスタントの仕事は、病気になる占い師の代りて、(ため息占い)を努める

子バちゃん…(ドタンバ)の女社長で、頬がリンゴちゃん

二風谷ケン…(ドタンバ)の唯一、若き星。北の国旭川の“字近文”という町の出で、今は、自衛隊員月寒の帰りを待つ。人は時折、こう呼ぶ。“ホルケウ(狼)”とも

月寒七々雄…北の“鷹橋町”の出身で、自衛隊員でもあり、熱砂の国より帰る。幼少時より二風谷とは仲よかい

月寒牙…七々雄の弟で、帰国後の弟のピンチを助けるために奔走する。故郷の店(マリゴールド)の華

匠…七々雄の上宮であり、帰国後、脱退。熱砂のムサンナ州を抜けてきた現実主義者であるが策を弄して、自らを(鉛の兵士)に堕とす

荒巻シャケ…(塩ジャケ)とも呼ばれるスタントマンで、いつも塩にかかっている

ジャコマン…(ドタンバ)に仕事を与える大きな事務所の代表で、元スタントマンで歯が強い、やざくれた匠を捨てる

散面…ジャコマンの部下だが、時々、上司をバカ呼ばわりする

渦屋鈴子…下水口広場で、(渦屋)の店をもち、人の指紋ばかりを集め、ハーブの女王の気になる。“指紋買い”とも陰口たたかれるヒト

あやこ…鈴子の養女で、店の指紋をあやし、種とりする

小手屋…あやこを餌にするチンピラで、寝てスポンのアイロンかけさせようとする

髪長い男…夢に出る牙の代りの兵士

幽霊部隊の影…旭川に今も出ると言われる旧第七師団の気配と段ボールの人型

弾き手・小谷…橋の上に入れた墨師の娘、牙の店(マリゴールド)に一度拾われ、七々雄、二風谷との絆はあつい。別名“シチカップ(鷹)”。今は爪のネール高いをする

コトバだけの婆ちゃん・ノッチュ…星のような、二風谷屋号の育て婆さま

【物語】

幼き日、姉・牙と二風谷と共に故郷、鷹栖で見た、死の大佐・一木清直率いる旭川第七師団の幽霊部隊。今なお、その影に引きずられるかのように、自衛官になった月寒七々雄は、まだ戦禍の残るムサンナ州へと発つたのだ。そんな七々雄の身を守るうと、牙は二風谷にある依頼を申し出る。どうかでいつか「弟にすり替わって」。

かつて、路頭に迷う祖母と幼い自分を救ってくれた月寒一家のため、なんとかその依頼に応えるべく、スタント事務所(ドタンバ)に二風谷はいた。その二風谷のもとを、ムサンナ州での任期を終えた七々雄が訪れるのだが……

長く垂らしたコートに隠された傷痕。ドラム缶の上で踊る、満月を映した夜露。その鮮やかにきらめく満月のかけらをつまんだ七々雄の指先からは、指紋が失われていたのである。焼けて消えた指紋を取り戻すため、二風谷の指は、果たせなかつた牙からの依頼「七々雄のスタント」を今再び誓う。

「暗い渦の底の涯。人はそこをのぞくまい、たどるまいと目閉じ、耳ふさぐのが、常、なりわい……が、あの男ばかりは、その渦を逆からたどり、筋を外れて、歩いている。」

死んだ恋人・ララを今でも追い求める伝説のスタントマン・荒巻シャケの命懸けのスタント、入れ墨師の娘・小谷の奏でる弦音響く中、消えた指紋の渦探し、独りはぐれた鉛の兵隊が、止まらなかつた砂時計に手を掛ける。

唐十郎の芝居を見ているさなか、幾度となく思うことがある——時間よ、止まれいまの言葉をもう一度聞かせて！

扇田昭彦著「唐十郎の劇世界」を読んでいるあいだも、唐の言葉を聞きたいという思いがふつと湧いてきて、手近にあった二冊を手にとった。あるわあるわ、意識を発情させ、鮮やかなイメージを躍動させる喚起力に富んだ言葉、さまざま役者の声となつてはげげ飛びそうな弾力のある言葉の数々。

たとえば、「ラマダンと呼ばれる断食月の季節が来て、七々雄さんは、ムサンナ州の小さな村に泊まっています。断食月の満月は、たわわとふくらみ、それが川に、砕けたガラスに、給水タンクの水溜まりに、撥ねて揺れたと言いました。」

これは二〇〇五年春に唐の主宰する劇団唐組が上演した「鉛の兵隊」からの引用である。サマワに派遣された自衛隊員→その身代わり→スタントマン、という連想が底流となった劇構成の卓抜さもさることながら、雅俗、詩情、ナンセンスが混濁する文体には惚れ惚れする。

この年、唐は、前年発表した「泥人魚」で紀伊國屋演劇賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞(戯曲部門)を受賞している。一九六三年に劇団状況劇場を旗揚げし、劇作家・演出家・役者としてデビューして以来四十年以上経つ現在もなお、彼の想像力のマグマはたぎり立っているのだ。

二〇〇七年「東京人」——扇田昭彦著「唐十郎の劇世界」

——松岡和子・評より抜粋

舞台が開く心の扉、観客の内に灯る電飾。唐十郎体験の四十年。 松岡和子

IAC Group IACグループ

ifc
INTERNET ART COMMITTEE

株式会社インター・アート・コミティーズ

(株)IACリビングスタイル
(株)ファーストビジョン
(株)小橋
(株)コンパスキャリア

自動車教習所運営・エージェンシー専業(旅行代店店業)
人材紹介・派遣事業
エンタテインメント事業(音楽関連)
フードサービス事業(レストラン・給食)

https://www.interart.co.jp

株式会社
コンパス

映像制作承ります。
(企業 VTR、舞台映像など)

http://www.compass-co.net

唐組・第77回公演



鉛の兵隊

